

生消協 パルシステム群馬センター研修報告

- (1) 9/5 (木)、パルシステム群馬高崎センターにて開催されました。今回は生消協より野菜くらぶ（グリーンリーフ）2名、JA やさと2名、パル・ミート2名、パルシステム群馬からは営業担当者を中心に高崎センター12名、渋川センター9名、東毛センター10名、など合計38名の参加がありました。なお、パルシステム群馬は同日、営業の稼働を1日ストップしたとのことです。
- (2) まず初めに、消費者幹事でもあるパルシステム群馬林常任理事より、開催趣旨と生消協について解説があり、開会されました。その後、産地ごとに取り組み内容についてプレゼンがなされました。野菜くらぶからはパルシステムとの産直の取り組みと糖しぼり大根などの加工品について、JA やさとからはパルシステムの卵全般と商品特徴・違いについて、パル・ミートからは豚肉を中心に産直産地の特徴や生産・流通の流れなどについてそれぞれ説明がありました。
- (3) プレゼン後、センターごとのグループに分かれ、高崎センターは野菜くらぶ、東毛センターはJA やさと、渋川センターはパル・ミートとの昼食交流、グループワークへと移っていきました。昼食交流ではパルシステム群馬職員による各産地の商品で素材を生かした料理と、グリーンリーフのお料理セットなどがふるまわれ、交流が進められました。
- (4) グループワークでは、①昼食のメニューの感想の共有、②営業担当者として伝えたいこと、③営業トークを考えるといった内容で進められ、最終的にはロールプレイング形式での発表が行われました。発表では、生産者も役として加わり営業現場で想定される応答と強調したい商品の特徴、クロージングトークなどが演じられました。
- (5) すべての内容が終了後、参加した生産者から「営業現場の難しさを理解した。今後の生産活動の励みとなった」「自身の商品のおすすめトークを自ら考えていきたい」といった感想があり、職員・生産者双方が学び合う研修として有意義な機会とすることができました。

